

平成15年9月期第3四半期業績状況

上場会社名 株式会社 まんだらけ
 (コード番号 2652 東証マザーズ)
 (URL <http://www.mandarake.co.jp/>)
 本社所在地 東京都中野区中野5-52-15
 代表者 代表取締役社長 古川 益蔵
 問合せ先 取締役経理部長 川代 浩志
 電話番号 (03) 3228-0007

1. 業 績

(1) 平成15年9月期第3四半期の業績(平成14年10月1日～平成15年6月30日)

	前期(通期)	15年9月期第3四半期	対前期増減比
	百万円	百万円	%
売上高	3,088	3,151	2.0
営業利益	5	58	912.2
経常利益	16	38	-
当期純利益	104	22	78.0
総資産	3,801	3,788	0.3
株主資本	2,239	2,216	1.0

(2) 品目別売上高

	前期(通期)		15年9月期第3四半期		対前期増減比
	金額	構成比	金額	構成比	
	百万円	%	百万円	%	
出 版 物	13	0.4	11	0.4	12.6
本	917	29.7	849	27.0	7.4
T O Y S	708	22.9	722	22.9	2.0
同 人 誌	816	26.5	870	27.6	6.5
そ の 他	632	20.5	697	22.1	10.3
合 計	3,088	100.0	3,151	100.0	2.0

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 百万円未満は省略しております。

3. 決算期変更により14年9月期は平成14年1月1日から平成14年9月30日までの9ヵ月決算となっており、14年9月期第3四半期の記載はありません。

2. 業績の概況（平成14年10月1日～平成15年6月30日）

当第3四半期におけるわが国経済は、デフレ不況が長期化するなか、高水準の失業率及び改善の見られない所得環境から個人消費は低迷を続けており、企業を取り巻く環境は株価の上昇や円安傾向によって、輸出企業を中心に一部改善の兆しを見せながらも、景気の行方は未だ不透明感を拭えないまま推移いたしました。

このような環境のもと、当社は引き続き全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果当第3四半期の売上高は、既存店の売上増に加え新設店の売上が堅調な伸びを見せたことから対前期比2.0%増の3,151百万円となり、さらに利益率の向上に努めましたことから営業利益は対前期比912.2%増の58百万円、経常利益は38百万円（前期は16百万円の損失）となりました。しかしながら米国子会社における閉店コストが増加し、特別損失において貸倒引当金繰入を計上したことから、当期純損失は22百万円（前期は104百万円の損失）となりました。

品目別では、世界的に飛躍するアニメーション関連の商品が好調に売上を伸ばし、セル画、CD、ビデオ、DVD等を含む「その他」品目の売上高は対前期比10.3%増の697百万円となりました。また、復刻ブームに加え新たなファン層の拡大を見せる「TOYS」の売上高は対前期比2.0%増の722百万円となりました。さらに、市場の拡大傾向が一層顕著である「同人誌」は対前期比6.5%増の870百万円となりました。

3. 当期の見通し（平成14年10月1日～平成15年9月30日）

当期のわが国経済は、雇用環境さらには金融環境の不安定さから、個人消費は低迷し国内景気の回復は依然として進まないものと思われれます。

しかしながら世界的に高い評価を得る日本のアニメーション関連商品及びファン層が世界に広がりを見せる同人誌分野において、市場は拡大を続けるものと思われれます。

このような状況のなかで当社といたしましては引き続き、まんが、アニメーション文化を世界に向けて発信すべく営業活動を進めて参ります。

7月には秋葉原店を増床し、拡大を続ける「同人誌」に加えて好調に推移する「TOYS」の取り扱いを開始、積極的に販売活動を推進してまいります。

さらに中野店では新たな分野として「TOYS」より車関連商品のみを取り扱う店舗を増床し、取り扱い商品と新規顧客の拡大に努めてまいります。

ホームページにつきましてはWeb通販の拡充を進め、さらに平成15年1月に開催して好評を得ました第1回まんだらけWeb大オークション大会に続き、通年でのオークション販売を行うほか、7月には第2回Web大オークション大会を開催し、新たな売上高増大の分野として強化、拡充を図ります。

Web通販やオークションなど新たな販路拡大に合わせて、まんだらけの最大の特徴である商品の買い取りのノウハウも、その幅を広げて取り扱い商品の拡大に努めてまいります。

このように今後もまんが、アニメーションを中心としながらジャンルに係らず様々な商品を、あらゆる角度から取り扱い、企業利益の増大を図っていく方針であります。

この結果、当社においてはこれまでも第4四半期に売上高及び利益が増大する傾向にあることから、業績予想につきましては平成14年11月29日に発表いたしました「平成14年9月期決算短信」に記載のとおり、当会計年度については、売上高4,768百万円、経常利益239百万円、当期純利益191百万円と、現時点での変更はございません。

なお、本資料で記述されている業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 第3四半期財務諸表

(1) 第3四半期貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成14年9月30日現在)		当第3四半期会計期間末 (平成15年6月30日現在)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)			%		%
流動資産					
1. 現金及び預金	3	219,992		164,707	
2. 売掛金		103,826		84,258	
3. たな卸資産		1,582,638		1,755,765	
4. 前払費用		52,946		45,879	
5. 繰延税金資産		71,167		80,244	
6. 未収入金		26,870		28,352	
7. 未収法人税等		66		89	
8. その他		6,898		15,655	
9. 貸倒引当金		573		41,089	
流動資産合計		2,063,834	54.3	2,133,863	56.3
固定資産					
(1) 有形固定資産	1,2				
1. 建物		781,714		730,546	
2. 構築物		5,213		6,812	
3. 車両運搬具		327		327	
4. 器具備品		110,775		121,533	
5. 土地		445,544		445,544	
有形固定資産合計		1,343,574	35.3	1,304,765	34.5
(2) 無形固定資産					
1. ソフトウェア		5,631		4,656	
2. その他		2,788		2,788	
無形固定資産合計		8,419	0.2	7,445	0.2
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券		5,464		5,256	
2. 出資金		550		550	
3. 関係会社出資金		1,000		1,000	
4. 関係会社長期貸付金		73,864		74,228	
5. 長期前払費用		7,535		6,668	
6. 繰延税金資産		67,214		69,029	
7. 差入保証金	2	272,543		260,127	
8. その他		31,647			
9. 貸倒引当金		73,864		74,228	
投資その他の資産合計		385,955	10.2	342,631	9.0
固定資産合計		1,737,950	45.7	1,654,841	43.7
資産合計		3,801,784	100.0	3,788,705	100.0

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成14年9月30日現在)		当第3四半期会計期間末 (平成15年6月30日現在)	
		金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)			%		%
流動負債					
1. 買掛金	3	21,547		20,736	
2. 短期借入金		30,000		100,000	
3. 1年以内返済予定長期借入金	2	569,016		538,476	
4. 未払金		88,408		87,425	
5. 未払費用		22,730		24,098	
6. 未払法人税等		6,556		6,556	
7. 未払事業所税		5,667		5,972	
8. 未払消費税等		21,314		14,672	
9. 前受金		1,979		1,483	
10. 預り金		15,555		12,068	
11. 賞与引当金		15,386		3,909	
12. 返品調整引当金		1,506			
13. その他		83		55	
流動負債合計		799,753	21.0	815,455	21.5
固定負債					
1. 長期借入金	2	668,605		657,388	
2. 退職給付引当金		30,113		33,136	
3. 役員退職慰労引当金		22,823		24,847	
4. 長期未払金		40,847		41,424	
固定負債合計		762,388	20.1	756,795	20.0
負債合計		1,562,142	41.1	1,572,251	41.5
(資本の部)					
資本金		804,000	21.1		
資本準備金		1,083,940	28.5		
利益準備金		3,000	0.1		
その他の剰余金					
(1) 任意積立金		479,096			
(2) 第3四半期(当期)未処分損失()		131,044			
その他の剰余金合計		348,051	9.2		
その他有価証券評価差額金		651	0.0		
資本合計		2,239,642	58.9		
資本金				804,000	21.2
資本剰余金				1,083,940	
資本準備金					
資本剰余金合計				1,083,940	28.6
利益剰余金					
(1) 利益準備金				3,000	
(2) 任意積立金				318,959	
(3) 第3四半期(当期)未処分利益				6,112	
利益剰余金合計				328,071	8.7
その他有価証券評価差額金				442	0.0
資本合計				2,216,453	58.5
負債・資本合計		3,801,784	100.0	3,788,705	100.0

(2)第3四半期損益計算書中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前事業年度の 要約損益計算書 〔自 平成14年 1月 1日〕 〔至 平成14年 9月30日〕		当第3四半期会計期間 〔自 平成14年10月 1日〕 〔至 平成15年 6月30日〕	
		金 額	百分比	金 額	百分比
			%		%
売 上 高		3,088,365	100.0	3,151,451	100.0
売 上 原 価		1,540,709	49.9	1,512,655	48.0
売 上 総 利 益		1,547,656	50.1	1,638,796	52.0
返 品 調 整 引 当 金 戻 入 額			0.0	1,506	0.0
返 品 調 整 引 当 金 繰 入 額		1,506	0.0		
差 引 売 上 総 利 益		1,546,149	50.1	1,640,302	52.0
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,540,382	49.9	1,581,936	50.2
営 業 利 益		5,766	0.2	58,366	1.8
営 業 外 収 益 1		7,364	0.2	17,077	0.5
営 業 外 費 用 2		29,833	1.0	37,327	1.1
経常利益または経常損失()		16,701	0.5	38,115	1.2
特 別 利 益 3		225	0.0		0.0
特 別 損 失 4		152,582	4.9	65,430	2.0
税引前第3四半期(当期)純損失()		169,058	5.5	27,315	0.8
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		7,862	0.3	6,556	0.2
法 人 税 等 調 整 額		72,370	2.3	10,891	0.3
第3四半期(当期)純損失()		104,549	3.4	22,979	0.7
前期繰越利益または前期繰越損失()		26,495		29,091	
第3四半期(当期)未処分利益または第3四半期(当期)未処理損失()		131,044		6,112	

(第3四半期財務諸表作成の基本となる事項)

期 別 項 目	前事業年度 〔自 平成14年 1月 1日〕 〔至 平成14年 9月30日〕	当第3四半期会計期間 〔自 平成14年10月 1日〕 〔至 平成15年 6月30日〕
1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1)有価証券 子会社株式及び関連会社株式 ……移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの ……当事業年度末の市場価格等 に基づく時価法(評価差額は全部 資本直入法により処理し、売却 原価は移動平均法により算定) 時価のないもの ……移動平均法による原価法</p> <p>(2)たな卸資産 イ商品 高額品……………個別法による原 価法 その他の商品……………売価還元法に による原価法 ロ製品・仕掛品 個別法による原価法 八貯蔵品 最終仕入原価法による原価法</p>	<p>(1)有価証券 子会社株式及び関連会社株式 ……移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの ……当第3四半期末の市場価格等 に基づく時価法(評価差額は全部 資本直入法により処理し、売却原 価は移動平均法により算定) 時価のないもの ……移動平均法による原価法同左</p> <p>(2)たな卸資産 イ商品 同左 ロ製品・仕掛品 同左 八貯蔵品 同左</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1)有形固定資産 定率法(ただし、平成10年4月1日 以降に取得した建物(附属設備を除 く)については定額法)を採用して おります。</p> <p>(2)無形固定資産 ソフトウェア(自社利用)につ いては、社内における見込利用可 能期間(5年)に基づく定額法によっ ております。</p>	<p>(1)有形固定資産 同左</p> <p>(2)無形固定資産 同左</p>

期 別 項 目	前事業年度 〔自 平成14年 1月 1日〕 〔至 平成14年 9月30日〕	当第3四半期会計期間 〔自 平成14年10月 1日〕 〔至 平成15年 6月30日〕
3. 引当金の計上基準	<p>(1)貸倒引当金 売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2)賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、当期に負担すべき支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(3)退職給付引当金 従業員の退職金の支出に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額(自己都合退職要支給額)に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>(4)返品調整引当金 製品の返品による損失に備えるため、法人税法の規定(売掛金基準)に基づく繰入限度相当額を計上しております。</p> <p>(5)役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支払に備えて、内規に基づく期末要支給額を計上しております。</p>	<p>(1)貸倒引当金 同左</p> <p>(2)賞与引当金 従業員の賞与の支給に充てるため、当第3四半期会計期間に負担すべき支給見込額に基づき計上しております。</p> <p>(3)退職給付引当金 従業員の退職金の支出に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額(自己都合退職要支給額)に基づき、当第3四半期会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>(4)返品調整引当金 製品の返品による損失に備えるため、法人税法の規定(売掛金基準)に基づき繰入限度相当額を計上しております。 なお、当第3四半期の繰入額及び残高はありません。</p> <p>(5)役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えて、内規に基づき当第3四半期末要支給額を計上しております。</p>
4. リース取引の処理方法	<p>リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>	<p>同左</p>

期 別 項 目	前事業年度 〔自 平成14年 1月 1日〕 〔至 平成14年 9月30日〕	当第3四半期会計期間 〔自 平成14年10月 1日〕 〔至 平成15年 6月30日〕
5 . ヘッジ会計の方法	<p>(1)ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理を採用しております。なお、金利スワップについては、特例処理の要件を満たしている場合は特例処理を採用しております。</p> <p>(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段・・・金利スワップ取引 ヘッジ対象・・・借入金</p> <p>(3)ヘッジ方針 当社の社内規定に基づき、相場変動リスク及びキャッシュ・フロー変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4)ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動と、ヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計または相場変動とを半期ごとに比較し、その変動額の比率によって有効性を評価しております。 ただし、特例処理によっている金利スワップについては、有効性の評価を省略しております。</p>	同左
6 . その他第3四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。	消費税等の会計処理 税抜方式によっております。 仮払消費税及び仮受消費税等は、相殺の上、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

注 記 事 項

(第3四半期貸借対照表関係)

項 目	期 別	前事業年度末 (平成14年9月30日現在)	当第3四半期会計期間末 (平成15年6月30日現在)
1.有形固定資産の減価償却累計額		777,119千円	857,204千円
2.担保資産			
(1)担保に供している資産			
建 物		415,083千円	413,465千円
土 地		416,614	445,544
計		831,697	859,010
(2)担保資産に対応する債務			
1年以内返済予定 長期借入金		245,548千円	321,612千円
長期借入金		477,327	540,286
計		722,875	861,898
3.主な外貨建資産・負債			
現金及び預金		359千米ドル (44,102千円)	69千米ドル (8,289千円)
買 掛 金		3千米ドル (464千円)	

(第3四半期損益計算書関係)

項 目	期 別	前事業年度 〔自平成14年1月1日 至平成14年9月30日〕	当第3四半期会計期間 〔自平成14年10月1日 至平成15年6月30日〕
1.営業外収益のうち主要なものの 受取利息		343千円	159千円
2.営業外費用のうち主要なものの 支払利息及び割引料		21,824千円	23,285千円
3.特別利益のうち主要なものの 貸倒引当金戻入益		225千円	
4.特別損失のうち主要なものの たな卸資産評価損		34,597千円	
固定資産除却損		8,856千円	19,902千円
貸倒引当金繰入			40,880千円
5.減価償却実施額			
有形固定資産		99,467千円	84,497千円
無形固定資産		632千円	974千円

(リース取引関係)

前事業年度 〔自 平成14年 1月 1日 至 平成14年 9月30日〕	当第3四半期会計期間 〔自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日〕																																																																														
<p>1.リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引</p> <p>(1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び未残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得 価額 相当額</th> <th>減価償却 累計額 相当額</th> <th>期 末 残 高 相 当 額</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両運搬具</td> <td style="text-align: right;">6,963</td> <td style="text-align: right;">6,022</td> <td style="text-align: right;">940</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">170,313</td> <td style="text-align: right;">57,937</td> <td style="text-align: right;">112,375</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">177,276</td> <td style="text-align: right;">63,960</td> <td style="text-align: right;">113,316</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)未経過リース料期末残高相当額</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">1年内</td> <td style="text-align: right;">35,710 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1年超</td> <td style="text-align: right;">83,665 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">119,376 千円</td> </tr> </table> <p>(3)支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">38,895 千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">34,492 千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">4,004 千円</td> </tr> </table> <p>(4)減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。</p> <p>(5)利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。</p>		取得 価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期 末 残 高 相 当 額		千円	千円	千円	車両運搬具	6,963	6,022	940	その他	170,313	57,937	112,375	無形固定資産	-	-	-	合計	177,276	63,960	113,316		1年内	35,710 千円		1年超	83,665 千円		合計	119,376 千円	支払リース料	38,895 千円	減価償却費相当額	34,492 千円	支払利息相当額	4,004 千円	<p>1.リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引</p> <p>(1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び第3四半期末残高相当額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>取得 価額 相当額</th> <th>減価償却 累計額 相当額</th> <th>第3四半期 末 残 高 相 当 額</th> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">千円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車両運搬具</td> <td style="text-align: right;">4,039</td> <td style="text-align: right;">3,904</td> <td style="text-align: right;">134</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">252,300</td> <td style="text-align: right;">91,801</td> <td style="text-align: right;">160,498</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: right;">39,117</td> <td style="text-align: right;">3,513</td> <td style="text-align: right;">35,603</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">295,457</td> <td style="text-align: right;">99,219</td> <td style="text-align: right;">196,237</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)未経過リース料第3四半期末残高相当額</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="text-align: right;">1年内</td> <td style="text-align: right;">58,852 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1年超</td> <td style="text-align: right;">142,956 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">合計</td> <td style="text-align: right;">201,808 千円</td> </tr> </table> <p>(3)支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">支払リース料</td> <td style="text-align: right;">42,159 千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費相当額</td> <td style="text-align: right;">37,853 千円</td> </tr> <tr> <td>支払利息相当額</td> <td style="text-align: right;">5,359 千円</td> </tr> </table> <p>(4)減価償却費相当額の算定方法 同左</p> <p>(5)利息相当額の算定方法 同左</p>		取得 価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	第3四半期 末 残 高 相 当 額		千円	千円	千円	車両運搬具	4,039	3,904	134	その他	252,300	91,801	160,498	無形固定資産	39,117	3,513	35,603	合計	295,457	99,219	196,237		1年内	58,852 千円		1年超	142,956 千円		合計	201,808 千円	支払リース料	42,159 千円	減価償却費相当額	37,853 千円	支払利息相当額	5,359 千円
	取得 価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期 末 残 高 相 当 額																																																																												
	千円	千円	千円																																																																												
車両運搬具	6,963	6,022	940																																																																												
その他	170,313	57,937	112,375																																																																												
無形固定資産	-	-	-																																																																												
合計	177,276	63,960	113,316																																																																												
	1年内	35,710 千円																																																																													
	1年超	83,665 千円																																																																													
	合計	119,376 千円																																																																													
支払リース料	38,895 千円																																																																														
減価償却費相当額	34,492 千円																																																																														
支払利息相当額	4,004 千円																																																																														
	取得 価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	第3四半期 末 残 高 相 当 額																																																																												
	千円	千円	千円																																																																												
車両運搬具	4,039	3,904	134																																																																												
その他	252,300	91,801	160,498																																																																												
無形固定資産	39,117	3,513	35,603																																																																												
合計	295,457	99,219	196,237																																																																												
	1年内	58,852 千円																																																																													
	1年超	142,956 千円																																																																													
	合計	201,808 千円																																																																													
支払リース料	42,159 千円																																																																														
減価償却費相当額	37,853 千円																																																																														
支払利息相当額	5,359 千円																																																																														

(有価証券の時価等関係)

当第3四半期連結会計期間に係る「有価証券」(子会社及び関連会社株式で時価のあるものを除く。)及び前連結会計年度に係る「有価証券の時価等」については、第3四半期連結財務諸表における注記事項として記載しております。

有 価 証 券 の 時 価 等

種 類	前会計期間末 (平成14年9月30日現在)		
	貸借対照表計上額	時 価	評 価 損 益
(1)流動資産に属するもの			
株 式	-	-	-
債 券	-	-	-
そ の 他	-	-	-
小 計	-	-	-
(2)固定資産に属するもの			
株 式	5,464	5,464	-
債 券	-	-	-
そ の 他	-	-	-
小 計	5,464	5,464	-
合 計	5,464	5,464	-

(注) 1. 時価の算定方法

上 場 有 価 証 券 主 に 東 京 証 券 取 引 所 の 最 終 価 格 等 に よ っ て お り ま す 。

2. 開示の対象から除いた有価証券の貸借対照表計上額

固定資産に属するもの

前会計期間末

店頭売買株式を除く非上場株式
(うち関係会社株式)

- 千円
(-)

当第3四半期会計期間 (平成15年6月30日現在)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間及び前連結会計期間に係る(デリバティブ取引)については、当第3四半期連結財務諸表における注記事項として記載しております。

前会計期間(自平成14年1月1日 至平成14年9月30日)

前会計期間に係るデリバティブ取引については、当第3四半期連結財務諸表における注記事項として記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2. そ の 他

当第3四半期財務諸表、すなわち、第3四半期貸借対照表及び第3四半期損益計算書は、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく会計監査人の手続きを実施しております。